




# 株式会社〇〇に関する 知財ビジネス提案書

---

2019/00/00

評価機関〇〇  
担当弁理士:



1. 現状の課題(知財ビジネス評価書からの抜粋まとめ)
2. 提案内容
  - ① 知財活動に関する提案
  - ② その他の事業活動に関する提案
  - ③ 提携先・相談先の提案

# 1. 現状の課題

知財ビジネス評価での評価内容から、  
現状の課題を抜粋してまとめる。

- ✓ …の部分の特許権が弱い
- ✓ …の商標権が取得出来ていない
- ✓ …の特許技術が生かせていない
- ✓ …競合との差別化が弱い
- ✓ …の販路が確保できていない etc

## 2-1. 知財活動に関する提案

### 知財活動に関する提案

- ✓ …に関する特許取得を検討すべき
- ✓ …の特許出願について、早期の権利化を目指すべき
- ✓ …の特許出願について、米国等での権利化を目指すべき
- ✓ ブランディング戦略を見直し、…の商標権を取得すべき
- ✓ 競合企業の特許分析を行うべき
- ✓ 活用できていない特許権を複数保有しているため、棚卸を行うべき
- ✓ …のライセンス契約について弁護士確認を行うべき
- ✓ 今後の知財戦略について、…のようにすべき etc

## 2-2. その他の事業活動に関する提案

### 事業活動に関する提案

- ✓ 貴社の強みである特許技術〇〇の応用分野について特許調査をしたところ、▲▲という製品への適用が考えられ、その場合■ ■社との提携が考えられる
- ✓ 特許発明〇〇については、■ ■社へのライセンス提案が考えられる
- ✓ 貴社の基礎技術〇〇について特許調査をしたところ、▽▽に関する今後の開発方針を検討すべき
- ✓ 特許権・製品としては優れたものを保有しているので、◇◇による販路の開拓を検討すべき etc

## 2-3. 提携先・相談先の提案

### 提携先・相談先に関する提案

- ✓ 貴社の強みである特許技術分野にマッチする弁理士の紹介
- ✓ …に強い専門家〇〇の紹介
- ✓ …の特許技術を活かせる〇〇企業の紹介
- ✓ 販路の開拓に際しての〇〇の紹介 etc